

病院と地域のつながりを深めよう

広島大学病院 在宅緩和ケア事業研修会

■ テーマ

「がん救急における緊急緩和照射」

地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院 放射線治療科

主任部長 松浦 寛司 先生

■ 講師略歴

1994年愛知医科大学卒，1998年広島大学大学院卒業。
広島市民病院，広島赤十字・原爆病院，東広島医療センター，広島大学病院などを経て，2010年広島市民病院放射線科副部長。
2015年より同院放射線治療科主任部長。専門は肺癌，頭頸部癌の放射線治療，緩和照射。



がん救急において，放射線治療の出番は決して多くありません。そのため，がん診療に携わる医療従事者の間でもその認知度が低いのが現状です。しかし，放射線治療の適応となる病態への効果は高く，症状緩和のみならず，QOLや予後の改善・維持に欠かせない治療です。今回，がん救急における緊急緩和照射についてお話しします。

司会・進行：倉田 明子(広島大学病院 緩和ケアチーム医師)

■ 開催日時・場所

2020年10月17日(土) 15:00～16:30 (建物解錠／受付開始:14:30～)
広島大学病院 臨床管理棟3階 3F1会議室

■ 対象者・定員

がん診療に携わる医師・看護師・薬剤師 他 医療従事者 (定員:25名)

■ 申込締切

2020年10月7日(水)

参加申込は、広島大学病院医療支援グループ／がん治療センターへお知らせください。

☒ : byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp Fax: 082-257-1720 Tel: 082-257-5934

(主催) 広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院)

(共催) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム 広島大学がん専門医療人材 (がんプロフェッショナル) 養成プラン